人の往来

◇阿部政右衛門（平商工会議所副会頭）草野四郎（同所専務理事）伊藤秀吉（平市助役）橋本勲（石城町村会事務局長）の四氏は常磐線電化促進期成同盟総会出席のため十三日水戸市に出張

◇古河好間労組調査部長村上利夫教宣部長志賀一夫の両氏は十三日総評大会主席のため上京

◇作家江口シン一氏は北海道旅行の帰途十二日平に下車一泊し十三日帰京

◇佐藤週平氏は平税務署総務課次長から仙台国税局徴収官に転任十四日午前十時十五分出発

◇高杉清寿氏（県教委石城出張所主事）は学校視察のため十三日上遠野へ

◇池上正人氏（県薬務課長）は薬事講習のため二十七日来平

三和新報

日刊（除日曜・祝祭日）第59号　平市六丁目三和新報社発行電472
支社・支局ー東京支局・湯本支社・内郷支社・小名浜支社　7月13日　（1ヵ月50円）
（昭和29年6月17日第三種郵便物認可）

断然多い女

石城町村会で人口調査

石城町村会ではこのほど四市を含む五町、十六ケ村の人口、戸数調査を行つたがこれによると男十六万八千四百六十三、女十七萬一千二百九十九計三十三万九千七百六十二名で女が二千八百三十六名多い市、町、村別では戸数人口ともに磐城市がもつとも多く九千六百六十一戸、五万二千四百七十四名、次いで平市の九千六百二十三戸、四萬五千八百三名、最低戸数は夏井村四百八十八戸、人口高久村三千百四十二名となつている

空とぶキンツバ！

ヤミの中から、モシモシ、オニザワサン

早くも奇怪なユウレイ話

○…キンツバ屋桃代さんが三十六才を一期としてあえない最後をとげたのは梅雨降りしきる六月二十八日午前一時、しかも犯人は元同僚として一しよに働いたことのある顔見知りの女だつた

○…桃代さんは水商売をした女には珍らしく地味な女、人の世話もやき、人にも可愛がられ、知人や友人で桃代さんをわるくいう者は一人もいない、派手な水商売の足を洗い屋台店を出そうという地味な考えの女だつたから生活もキチンとして拭掃除などもゆきとどいていた

○…愛人鬼沢竹男氏の事は「いんきよ」とよび鬼沢氏以外の男出入りも噂にのぼつていたから鬼沢氏に対する感情は「ダンナ」としてか、ほんとうに好きだつたか知る由もなく犯人渡辺ナツエがいうように桃代さんがナツエに対してヤキモチをやいたかどうかもアヤしい話だ、キンツバ屋だから焼くのはあたりまえだろうなどいうへらず口は落しばなし……

○…ところで早くも桃代さん殺しの怪談がチマタの話題になつている…平市仲町の或る人（特に名を秘す）がゆうべ午後十一時半ごろ薄月夜の雲のあいだを黄色い玉が錦湯のあたりからフワツととび立つたかと思うとゆるいカーブを描いて桃代さんの家のくらがりの上を通り四丁目の方へとんだあツ！キンツバだツ、キンツバがとんでいる！と思わず声をあげたトタンキンツバから手拭の尾がスウーとひいた、見ていたその人はゾクゾクと全身に粟を生じたといつている

○…ユウレイの正体見たり枯尾花というからこの人は流星をみてキンツバのユウレイと思つたのかも知れないが、黄色いフクラミの外側がコンガリ狐色に焼けたアンバイはどうしてもキンツバに相違ないとガンバツている

○…また或る人（これも名を秘す）が犯人の捕まつた夜、午前二時ごる知人の家でマージヤンをしての帰り雨の中をトボトボ公会堂前に差しかかると向うからはだじゆばんに花模様の腰巻をまいた女が雨にぬれてこちらに歩いてくる、だんだん近ずくと女は髪ふりみだし鉢巻をしてハナ血をたらりと流している、その恐ろしき形相に思わずあツと叫び声を挙げると女の姿はヤミの中に消え、今まで女の立つていた所にポツン、と一つ黄金色のキンツバが落ちていてポヤポヤと白い湯気を立てていたという

○…また或る人が桃代さんの家の近所を夜遅く歩いていると、後からカラコロと足駄の音がして「ちよいと、オニザワさん…」と女の声、ゾツとしてふり向くと人影はなく、ケラケラケラと、ヤミの中から笑い声、もういけませんと一目散に逃げ出し、警察には届けず南町の方に行つて届けたという

内郷

白浪三人むすめ

盗んで持ちよりお寺で暮す

遊びや盗み癖があるため両親に叱られ帰宅出来ず盗んだ金や米を持ちよりお寺の裏で煮たきして暮していた少女ら三人が内郷署に捕り十三日書類送検された

内郷市白水内郷二中二年生、A、B、C女（いずれも十四才）らは去る四年前から盗みをおぼえ宮、白水、浜江場の炭砿共同浴場や病院にしのび込み脱衣場から前後四十回にわたり現金三萬円、米などを手あたり次第盗み同字アミダ堂を根城に煮たきしてルンペンのような生活をしていたもので九日説諭して帰宅させたがその後も米など五回にわたり盗み内郷署員も「末おそろしい白浪三人むすめ」だとおどろいている

"ガマンせよ""ガマン出来ぬ"

フンヅマリ談義

平一中のクサイ騒動

平一中（生徒数千三百名）の便所が充満したため九日から使用禁止になり生徒たちが大さわぎしている

この便所は新築校舎内のもので平窪農協組の関係者が汲取りを請負つており学校側の再三の連絡にもかゝわらずさつぱり汲取りをしないため道路上まで汚物が流れ出るしまつで使用禁止になつたもの

鈴木校長は生徒に「ガマンしてくれ」といつているがこれに対し生徒たちは「私達はガマンが出来ない」と生徒会報にも掲載している

市教委談—学校の便所問題は市のあつせんで請負制度のようにきまつており連絡さえすればいつでも汲取りにきてくれるようになつているが使用不可能になるまできてくれぬのは困つたものだ

売上

一億二千万円

平競輪上半期好調

平市では本年度予算に競輪収入として月平均売上三千九百万円、年間四億六千八百萬円、利益金二千五百万円を計上したが六月までの状況をみると総売上一億一千八百七十六萬七千四百円、月平均三千九百五十八万九千百円と順調なすべりだしをみせておりスリルと欲の強さを現わしている、月別では四月が売上、入場者とも最高で四千八十二萬五千四百円、五千八百人となつている、なお二十六年二月の第一回から六月までは回数四十一回、売上金十三億九百九十三万八千五百円、入場者は二十六萬七千百八十九名となつた

綴のスリ

内郷市綴一ノ坪土工　高樹喜八郎（三三）同志鎌昌天（三二）は十二日午後四時四十五分ごろ上り三二二列車が原町駅に停車中夏井村小沢清正さん（三四）から九百七十円、平市中神谷農業箱崎義康さん（五九）から二百円をスツて平公安室に捕つた

中小企業危機突破対策委

磐炭労、常炭砿両労組では十二日午後一時四十分から平市役所会議室で中小企業危機突破対策委員会を開き十五日行われる危機突破国民大会準備会の提出事項は小委員会を設けて立案し執行部が検討することに決めた

海水浴臨時列車

磐城七浜の海水浴シーズンを目の前にして国鉄では十八日から海水浴客の交通便を図るためちどり号しおち号など臨時列車三経路を平駅中心に繰りだす列車発着時刻は

◇ちどり号（運行日程七月十八、二十、二十五、八月一日八日）平—久の浜間

▽下り平発七時五十分　草野八時三分　四倉八時十一分　久の浜着八時十八分

▽上り久の浜発十五時十二分　四ツ倉同時二十四分、草野同時卅三分平着同時四十分

◇しおち号（運行日程は十八日から八月十日まで毎週月曜日を除いて運行）平—磯原間

▽上り平発七時五十五分　綴八時二分　湯本同時九分　泉同時十九分　植田同時二十分　勿来同時三十五分　大津港同時四十二分　磯原着同時五十分

▽下り磯原発十六時五分大津港同時十五分　勿来同時二十三分　植田同時三十一分　泉同時四十七分　湯本同時五十七分　つづら十七時五分　平着同時十二分

◇泉—長崎間▽上り連絡列車泉発八時三十分　小名浜同時五十分　長崎着同時五十九分▽下り連絡列車　長崎発十六時三分　小名浜同時十八分泉着同時四十七分

エキリ

川前村石合根本マサコちゃん（三）は十二日エキリで隔離

セキリ

常磐市上湯長谷字長倉機械夫佐藤栄福さん（四二）同字栄田ケイ子ちゃん（一つ）は十二日セキリで隔離

薬事講習會

県下薬事講習会は二十七、二十八の両日平保健所で薬事一般講習と常磐製薬、呉羽化学の監視、業務実地指導を行う

平商女東北大会へ

このほど県大会でソフトボールで優勝した平商女子部では十七、十八日の両日花巻で行われる東北大会に出場することになり目下猛練習中、この大会で優勝すれば団体出場権を獲得することになる

県職組石城支部

野球大会

県職組石城支部では二十五日午前八時半から湯本一小で八チームを集め分会対抗野球大会を行う

扶助を強要　酒のみ暮す

内郷の怠け者に非難

病弱をよいことにし生活扶助の権利を主張、毎晩酒をのんで遊び暮している男があり非難の的になつている

内郷町宮無職北山捨吉さん（五四）去る二十五年四月生活扶助をうけたが神経痛という申立が不確実ため十一月停止されたのを憤慨大竹知事宛「鬼のような吏員に扶助を打切られたため塩をなめてくらしている」という投書をして問題になつた「あんな怠け者に扶助をするなら住みん投票をする」と部落みんなのあいだにゴタスタが起きたがそれ以来北山は薬瓶を下げ酒気をおび役場に怒鳴り込み扶助を強要するので結局生活、医療教育扶助総額月三千二百円をもらうけ遊び暮している、なお妻ハタさん（四七）が失対事業に出て汗を流して働き病弱な長女（一九）ら四人を養つている

三夜市で営業細目協議

平名物の三夜市は既報の通り三夜様の月例縁日に開かれることになつたが十日平商工会議所で細目を協議した結果①営業は午後一時から②出店料は一こま（六尺）百円③電灯工事費は商店連合会負担、電球は出店持ち

保健婦会議

平保健所では十四日午前十時から管内保健婦会議を開き保健業務と研究発表を行う

少年図書部総会

常磐市こうみん館の少年図書部総会は十七日午後二時からひらき二十九年度予算ならびに年間行事について協議する

平競輪十二日後半

○七レース　1—4　一二三〇円
単1　四五〇円
○八レース　4—5　三四〇円
単6　三〇〇円
○九レース　4—3　九〇〇円
単5　一九〇円
○十レース　4—3　一七〇円
単6　一〇〇円
○十一レース　1—3　三三〇円
単1　一七〇円
○十二レース　3—2　一七〇円
単3　一五〇円

ワイシャツ界のナンバーワン
キャプテン★シャツ
2丁目★ヤマカ洋品店

レコードの店
天地堂
平和通り電五八九

技術の店
時計は大平
湯本

平市田町銀座ウラ
花すし
電一六九

カバンのデパート
平駅前
ヨシダ

＝断然群を抜く＝
スポーツ用品！
服装
月星運動靴
野球
競技靴
ラグビー
大塚
平駅前
電七七七番

田中には
驚く程沢山の
カメラが
揃つています
田中の現像　焼付けは良心的だと定評です
本店・平三丁目 576
サービス部・平三〇米通り 1860
支店・湯本 308
カメラのデパート　田中

書籍と
文房具
ヤマニ書房
平駅前
電七七七

ざるそば
もりそば
味の名所
[illegible]

科學的検眼
レフラクトメーター設備
眼鏡専門　松本
平市一・電一八五一

工場向貸家
五十坪
所在平市七丁目
姓名在社

いわきの百人 24

三野混沌論

詩人

杖をたよりにつゞれ背広をきて目をしよぼしよぼさせて歩く彼が詩人と思う者はあるまい、古ぼけた中折帽子をかぶり眼鏡の奥から何ものかをみつめながらとぼとぼ道を行く彼を村人たちは「カーペンター」とよんでいる、昔、山村暮鳥が一年ほど彼のところに身を寄せていた或る日のこと何を思つたか「若きカーペンターの家」と墨書したのが子供の口から村人の間にひろまり今では三野混沌というより吉野義也（本名）というより「カーペンター」といつた方が通りがよい、今中央の詩壇に名をときめかせている草野心平らとガリ版ずりの詩誌をやり行動派の農民詩人として石城詩界に先鞭をつけた彼は磐中時代哲学書にふけり、「哲学などやる学生は生いきだ」と教師に叱られ父兄よびだしをうけたこともある、早稲田の英文科に学んだが片山哲の法律事務所につとめたこともあり、東京の繁雑な世界に背を向け「農はすべてのもとえだ」と飄然石城の片田舎に飛びかえつてしまつた、しかし農家の三男坊である彼が耕す畑は残つていなつた、毎日おにぎりを腰にあちこちの未懇地を渉り歩いていたが久ノ浜海岸の砂丘に目をつけアメリカ式農法をこゝに実現しようと目論んだが兄たちの反対にあつてしまつた、しかし夢は際限もなく拡がつてゆくのに反しこれと想う場所もないまゝ或る晴れた日水石山でゴロリと寝そべり「もう石城地方はくまなく歩いた、未練もなにもない」と死のうと思いフト起き上つて好間の方を眺めると何まで気がつかなかつたカン木の茂らしいのが目にうつり急いでそこを目ざしたところが今は立派な畑が広々と連なり中学校が建つている寺山であつたという、彼は寝食を忘れミソをなめながら昼は土を打ち夜は詩作にふけり大河原一次、日野利春らと激論をかわし勉学をつゞけたものである、しかし社会性をもたぬ彼の詩はいつかな世間から忘れられ変人扱いにされたまゝ今日に及んではいるが柴田徳二、中野勇雄、諸橋元三郎氏らの尽力でヒツ生の詩篇幾百篇を「阿武隈の雲」として出版することになり廿五日には平市で出版記念講演会をひらくことになつたこの六十才の詩人三野混沌は若いころの重労働がたゝり神経痛やタン石症で悩んでいるが若い者たちが訪れると夜を徹してカフカを論じサルトルを語るあたり青年の意気をいまだ失わない面目がうかゞわれる、最近は散文を勉強しているが希くわ純粋さを失わずたえず青年の指標となつていてもらいたいことだ、また反面彼は農業問題についても造詣が深く第一回県農地委員として演壇に倒れるまで熱弁をふるい農奴解放に尽力し現在は好間村農地委員として地主たちとたゝかつている

新映画

雲は天才である

（新東宝）

故郷の渋民村で代用教員をやつている青年石川啄木は常に立派な作家になる夢を持つていた、だが、こと志と違い彼の小説はなかなか売れず父母妻子妹を抱えて貧乏生活を送つていた、短気な彼は校長と衝突して学校を止め北海道の友人宮川緑雨を頼つてその土地の商工会議所の事務員から新聞記者になり敏腕をうたわれるようになるが仲間の陰謀から苦境に立ちつい北海道をあとに東京に向う……までの半生を描いた一篇で監督は中川信夫、出演者は岡田英次、若山セツ子、角梨枝子、左幸子、細川俊夫、同時上映は松竹「青草に坐す」十四日から二十四日まで（平館）

凹凸透明人間

（ユニバース作品）

探偵学校を首尾よく卒業した凸凹一人組が殺人の嫌疑を受けて自ら透明人間になつた若者のために殺人事件の真犯人逮捕に尽力しようという大手柄立て一躍人気者となるお馴染バツト・アボツトとルウ・コステロ凸凹二人組喜劇で第二十六回作、全く文句なしの爆笑篇で老若男女大人子供の区別なく楽しめる事この上なし家族向に絶体である、アボツトとコステロの他にナンシイ・ギルド、アーサー・フランツ、シエルドン・レナード、の共演でチャールス・ラモンドが監督、同時上映はイタリー映画「ミラノの奇蹟」十四日より二十まで（民劇）

魔子恐るべし（東宝）

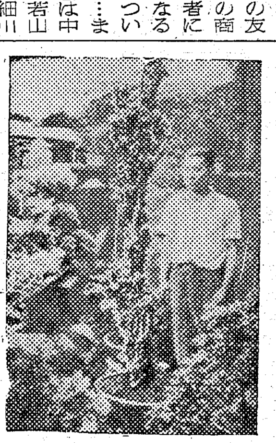
信州の山奥で育つた野性むき出しの娘魔子が山で一度会つた青年画家福田を探しに東京へやつてくるこの天衣無縫の娘のあまりに素晴しい肉体をめぐつて与太者一味やストリツプの演出家丸目などが入り乱れお色気やら乱斗が展開するたずねる福田はなかなか現われず魔子は福田の名を呼びつつ夜更けの街をさまよい果して「魔子よ何処へ行く?」で第一部の終り、肩のコリをほぐしてくれる面白味が横溢していて万人向娯楽篇、鈴木英夫の監督に根岸明美、森繁久彌、藤原釜足、伊豆肇、加東大介、小杉義男、隅田恵子、藤木悠、遠藤辰吉の出演同時上映は東宝「海道一の暴れん坊」十四日より二十日まで（ひかり座）

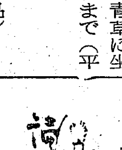
うわさの女（大映）

物語りは東京で失恋した娘と京都の島原で遊女屋をやつている母との二人の生活を通してここに働く昔ながらの太夫（女郎）たちの生きている姿も描き母と娘の仲にアプレ型青年医師をからませて女の持つ業である愛欲と男の醜い利己主義をサラケだして見せている、この医師をはさんで母子の間にトラブルが起るが二人の女は血のつながりに眼覚め共に手を取り合う娘は一度は卑下した家業の中に自分の生きる道があることをさとる田中以下いずれも好演でなかでも田中と久我の演技は群を抜いて光り日本の女の持つ業（ゴウ）の深さを何気ないタツチで追いつめたのはさすが女を描くと第一人者である溝口監督の長年の腕の冴えである、田中絹代、久我美子、大谷友右衛門、峰幸子、進藤英太郎、田中春男の豪華な顔触れに音楽、美術も秀逸、同時上映は東映「里見八犬伝第三部怪猫乱舞」と日活「国定忠治」の三本立、十四日より二十日まで（世界館）

七尺のおばけサボテン

内郷市高坂字御殿常磐炭砿内郷砿御殿立野区衛生夫荒川勇一さんはこのほど高さ七尺の大サボテンを買つて手入れしている、このサボテンは「岩石」と呼ばれその針は虫ピンぐらい固く時価一萬円はするという（写真は大サボテン）





読者のこえ

解せぬ電気料金

平で電気料金を月なかば前に払うと一割安く月を越すと定額金額になつて支払うことになる、しかし払う身になつてみると月なかばで払うと定額で月を越すと一割高くとられるような気がしてならない電気会社がソンなサービスしたなんて歌の文句ではないが「アナタノオロノウァイコト」である、定額料金を一割高くきめておけば一割サービスという手も楽なもんでしよう「すみませんが来月早々にお願いします」と小さくなつてる客に対して集金が「月をこすと一割高くなりますよ」というのをきけば全くサービスの一割安いというのは眉ツバものに思えるのは私ばかりではあるまい

（平、小心者）

さんすい帖

投稿を歓迎しますハガキ一枚に一つ書くこと、採用の分に薄謝呈

牛乳の犯人
鬼沢だアイ
―坊や
（内郷、豚痴）

訓示
署員はハチマキして
眠ることを禁じます
―平ケイサツ署長
（南町、奉行）

今晩の映画（七一三）

◎聚楽館　改装のため休館
◎世界館　知らずの彌太郎　二丁拳銃の龍　里見八犬伝（二部）
◎平　館　かくて夢あり　素浪人日和
◎民　劇　ミズリー大平原　巌窟の野獣
◎ひかり座　地獄の狼　女の戦場
◎綴映画（二一三）怪盗三人吉三　拳銃を売る男　はるかなる星
◎第二いわき（一〇一三）舞妓物語　笛吹き童子第二部　歌しぐれ　おしどり若衆

商店界

てんぐやのミラクル洋傘

平市田町てんぐ屋履物店ではミラクル洋傘を販売、このミラクル洋傘は「お猪口になつてもこわれない」という便利な洋傘、専売店ですから一覧相談に応じている

盛高屋ウインドー新設

平市三丁目盛高屋では店内のウインドーをこのほど新設、ブラウスワンピースなど新鮮なかざりつけに人目をひいている

鈴藤に大ネオン

最近名実共に発展しつゝある衣料品のデパート鈴藤では平AD社の製作によつて店頭に高さ十八尺横六尺の大ネオンをつける事になり大平市に異彩を放つことになつた

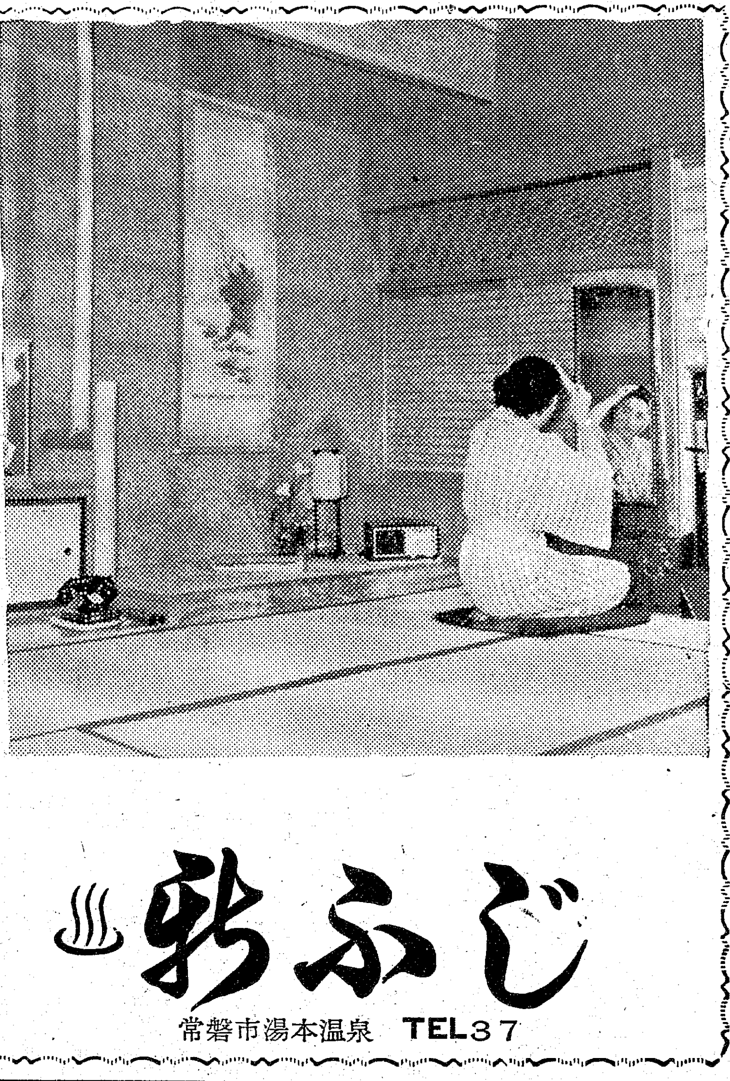
開花の増築完成

かねて増築中だつた気分のよい割烹開花ではこのほど紅小路側に完成し増築披露をかねて特別サービスすることになつた、部屋は明るく気分のよい二階建で料理もデフレ引締に即応してどんな相談にも応じ特に御家族連は大歓迎、小宴会にも遠慮なく申込があれば希望通りのサービスと予算引で受ける

マルサ独創の
ソフトアイスクリーム
平市平和通り　電1221
マルサ

平名物
若ひな鳥料理
一人前　一五〇円
一羽料理　二七〇円より
何にか美味しいものを食べたいとお考えの方は是非御試食下さい
不二屋
平市中央通り　TEL886・1750

販売元　株式會社　中村滝商店
製造元　常磐製薬株式會社



♨新ふじ
常磐市湯本温泉　TEL37

整形外科
外科
内科
レントゲン科
理学診療科
入院随時
福島県平市三十米道路
医療法人　竹林病院
院長　竹林貞吉
電話　六〇八番　八一一番